

カナダ金融政策（2024年9月）

3会合連続の利下げを決定し、追加利下げにも前向きな姿勢

2024年9月5日

当面は0.25%ptずつの利下げ継続が見込まれる

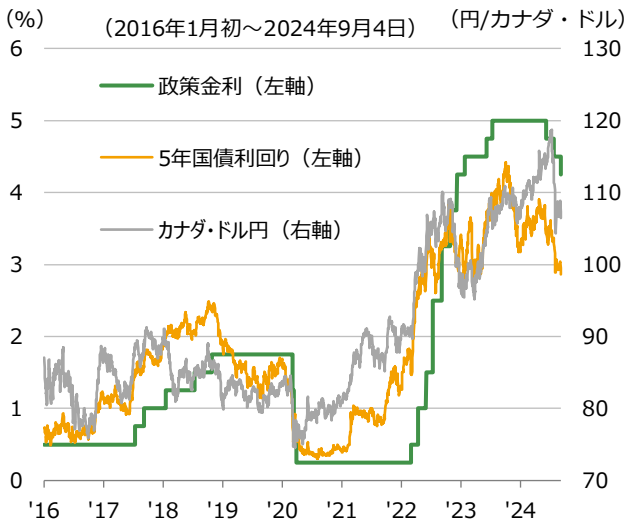
カナダ銀行（中央銀行）は9月4日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を4.5%から4.25%に引き下げることを決定しました。利下げは3会合連続です。

消費者物価指数（前年同月比）は7月に+2.5%まで伸びが鈍化し、うちコア指数（カナダ銀行が重視している加重中央値とトリム平均値の平均）も同じく+2.5%に鈍化しました。こうした状況下、声明文では「広範なインフレ圧力の緩和が続いているため、0.25%ptの利下げを決定した」と説明しています。

4-6月期の実質GDPが前期比年率+2.1%を記録するなど一見すると経済は好調ですが、政府支出や設備投資の寄与が大きく、個人消費は低迷しています。また、月次指標では6月と7月の経済活動の減速が示されたほか、労働市場も軟化しており、カナダ銀行は年後半の成長見通しに下振れリスクが高まったと評価しました。このように需要面からインフレ圧力が強まる懸念が乏しい中、利下げによる住宅ローン利払い費の低下などテクニカルな要因もあり、当面のインフレ率は鈍化傾向で推移すると見込まれます。

カナダ銀行は、今後の利下げはあくまでデータ次第とのスタンスを維持していますが、前回同様にマクレム総裁はインフレ鈍化が続けば追加利下げを想定するのは「合理的」と述べており、当面は0.25%ptずつの利下げを継続する可能性が高いと考えられます。ただし、目先は想定以上の景気下振れによる利下げ幅の拡大、逆に来年前半は景気回復による利下げ停止のシナリオにも注意する必要があるようです。

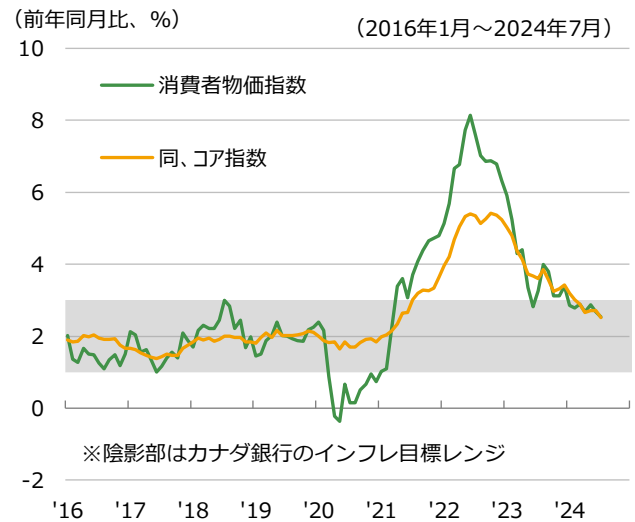
カナダの金利と為替



※政策金利は決定日ベース

(出所) ブルームバーグ

カナダの消費者物価指数



※コア指数は加重中央値とトリム平均値の平均

(出所) カナダ統計局、カナダ銀行より大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。